

天狗岳 山行報告

- 【山域・山】 八ヶ岳連峰 天狗岳
【形式】 雪山登山
【日程】 2019年1月6日(日)
【参加者】 CL 柘植 SL 澤田淳 澤田路 小俣 大木 加藤 園田 秋本 吉瀬(記録)
【行程】

唐沢鉱泉 7:30 — 唐沢鉱泉分岐 — 黒百合ヒュッテ 9:50 — 中山峠 — 東天狗 11:05
— 西天狗 11:40 — (西尾根下降) — 第一展望台 — 枯尾ノ分岐 — 唐沢鉱泉 14:30

【内容】

前夜発の大木・澤田淳・小俣・吉瀬は八ヶ岳PAで前日発の皆さんと合流。針葉樹の林を進み、黒百合ヒュッテに到着。アイゼンを付け、ピッケルを用意する。今日は『八ヶ岳ブルー』見られるかな？ 林を抜けると東天狗・西天狗が見えた。風は強く、斜面は徐々に急になってゆく。雪は良く締まり、アイゼンは効くのだが、アイゼンの刃の長さ分足を上げるのがキツイ。頂上を見る頻度がどんどん減る。アイゼン歩行初心者の秋本さんがスムーズに登ってゆく後を必死に登り、東天狗頂上到着時『着いた』と小さくホッ。頂上は風が強く寒かったので、すぐに西天狗に向かう。



唐沢鉱泉駐車場で全員集合



スタート直後まだ元気



中山峠の先で東西天狗岳が姿を現す



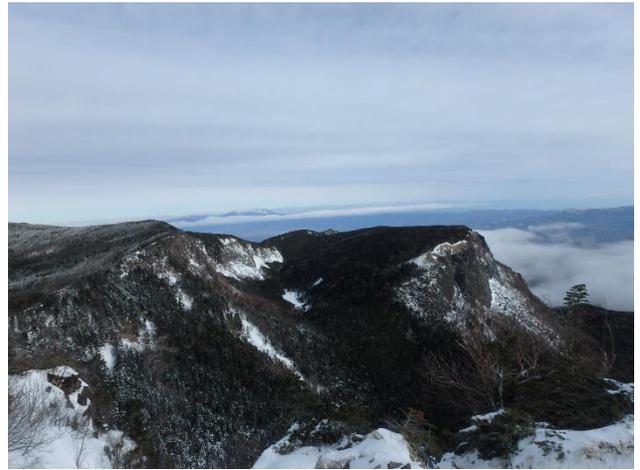
背後に遠く北アルプスも白く光る

途中広めのところで、アイゼンをズボンにひっかけ転ぶ。気持を引き締め下る。予想に反し、風が弱く温かい鞍部で休憩。『山の雪のあるところは風が弱く、木や山肌が見えているところは、風で雪が飛ばされているので風が強いところ』とお聞きする。西天狗もやっと登って到着。こちらは風が弱い。こんなに風が弱いこともめずらしいとのこと。西尾根を下降。下降を始めて30分程は岩が多く、つい足に力が入りロボット歩行。足が攣りそうになった時、以前の山行で伝授された『足

を引きずらない』『雪を確実に踏む』を思い出して実行。森林に入り休憩時塩分とエネルギー補給。次の第一展望台は風もなく見晴らしがよかったので長めの休憩で寛ぐ。針葉樹の林の中では鳥のさえずりが聞こえた。枯尾ノ分岐からは日陰のため雪が凍っていたので、唐沢鉱泉までアイゼンを付けて下山した。



奥秩父山塊を左に見て登る



稲子岳南壁と遠く浅間山



東天狗岳の山頂直下の岩場を登る



東天狗岳の山頂



西天狗岳を目指す



東西天狗の鞍部から南八ヶ岳の主峰群

唐沢鉱泉は大人入浴700円。へとへとになった体を温かい湯で癒した後、夕陽に映える八ヶ岳連峰と山に沈む朱い夕陽を見て帰葉した。

CLの公募に早々に応募したものの、仮眠時の寒さ、雪山の経験不足が心配でした。仮眠時の寒さ対策はダウンパンツ・シェラフカバーを使用してクリア。経験不足は当たり前のことと割り切りベテランの皆さんの懐にぬくぬくと入らせていただきました。



西天狗岳の山頂



西尾根を下降



第一展望台でくつろぐ



帰路の中央道から夕焼けの南アルプス方面

今回は当初から、5日か6日の天候の良い日に山行する予定でしたが、予報がどんどん変わり、CLも判断にお困りだったと思います。
結果、天候にも恵まれて充実した山行ができ、どうもありがとうございました。

写真: 柘植 記録: 吉瀬